

学校名	佐賀県立有田工業高等学校 定時制課程			
1 前年度 評価結果の概要	・生徒個々の学習状況等に関して、担任及び授業担当職員からの声掛けにより、生徒の学習意欲の向上を図ることができた。職員相互の授業参観やオンライン授業の職員研修を行った。今後も、生徒目線に立ち、最適な学習環境づくりの実施に向けて研修を進めるとともに、学習用パソコンについても、積極的な授業での活用を進めていきたい。 ・毎週の生徒連絡会で生徒情報の共有を行ったことにより、生徒間のトラブルや学習状況の把握等、組織的に生徒支援に努めることができ、学校が生徒が安心して過ごせる環境として機能できていたと思われる。また、スクールカウンセラーからの助言も大変参考になった。いじめに関しても、担任や生徒指導部で協力して面談を行うなど、早期発見、早期対応を行った。健康・体力づくりについては、毎日の「生活チェック表」と「心のチェック表」の記入で、生徒の小さな変化に気づき対応することができた。 ・業務改革・教職員の働き方改革については、会議資料の事前配布と会議時間の短縮に努めた。各部署の業務についても職員間の報告・連絡・相談で連携し、業務改善につながるよう努力した。オンラインによる授業や集会については、効果的な活用法について、定期的な研修を計画していきたい。			
2 学校教育目標	勉脩 「愛し」「創り」「光れ」を礎とした自立型人間の育成			
3 本年度の重点目標	① 出席率の向上と教育活動の充実 ② あいさつ、服装、マナー指導の徹底と思いやりの心の醸成 ③ 進路保障に繋ぐ学力向上、資格取得、部活動 ④ 生徒、職員の心身の健康増進			
4 重点取組内容・成果指標				
(1) 共通評価項目				主な担当者
重点取組			具体的取組	
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		
●学力の向上	○出席率の向上。 ○基礎学力の向上と学習意欲の喚起。	○出席率90%以上を目指す。 ○「学校評価生徒・保護者アンケート」を年2回実施し、「学力の向上」の項目の回答の平均値についてそれぞれ「3. 2」以上を目指す。	・欠席が多い生徒・保護者に対して、授業の欠席状況等を定期的に伝える。 ・生徒の学習意欲の向上のために、教師の指導法の改善と学力の定着を目的とした、職員相互の授業見学と公開授業を実施する。	教務学年
	○基礎学力向上を目指すことにより、進路実現へ繋いでいく。	◎就職率・進学率を100%にする。	・就業率を上げるための進路指導を行う中で過去問題やSPI対策の充実を図る。 ・基礎学力向上のため、国・数・英での小テストを行っていく。	進路
●心の教育	●生徒の、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を育てる教育活動。	○学校評価生徒アンケートの「心の教育」の項目の平均値「3. 2」以上を目指す。	・地域社会や学校生活との関連性を踏まえた内容で、特別活動の年間計画を策定する。 ・講話等の感想文を書かせることで、生徒自身の考えや気持ちを引き出す機会を設定する。	教務学年
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実。	○学校評価・保護者等アンケートにおいて、いじめに関する学校の取り組みの項目がB判定以上を目指す。	・生徒、保護者等に向け年3回のアンケートを実施する。 ・日頃から生徒の状況を職員全体で共有し、生徒の変化があった場合には速やかに面談・情報共有・保護者等に連絡を行う。 ・月1回「心のチェック」を実施し、気になる生徒への早期対応を確実に行う。	生徒指導 保健
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●健康によい食事をしている生徒の割合70%以上を目指す。 ○「健康・体づくり」には規則正しい生活習慣が必要であることを理解できる生徒80%以上を目指す。	・毎日の「生活チェック表」を記入することで、生徒自身が生活習慣を見直し、改善を心掛けるような意識付けをする。 ・給食喫食率が低い生徒への声掛けを積極的に行い、食の大切さを伝えるとともに給食室への入室を促す。 ・生徒と保護者等を対象に、健康意識を調査するアンケートを実施し、健康管理能力を高めるような指導を行う。	保健
	○生徒会活動と部活動を通じ社会性を身に付けさせる。	○学校評価生徒アンケートの「生徒会活動」の項目の平均値「3. 0」以上を目指す。	・各部活動において礼儀作法指導や他者と協力して成果を得る活動を行う。 ・協調性や達成感を得る主体的な生徒会活動を実践する。	生徒会
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減。	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・週1回の定時退勤日を設定する。 ・会議資料の事前配布により会議時間の短縮を図る。 ・職員間の意思疎通と報告・連絡・相談を徹底し、業務分担と互いに助け合う環境作りに努める。	管理職
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				主な担当者
重点取組			具体的取組	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		
○地域産業との連携	★本科生や聴講生制度の取り組みを、セラミック科・デザイン科の特色も交え、地域へ発信する。	○授業や聴講生講座終了後にアンケートを取り、地域へ作品等を発信したことへの自己評価70%達成を目指す。	・本科生は、特色ある授業を通して、地域産業の技術者の育成に貢献する。 ・聴講生は、週3日の講座を通し、窯業コースはろくろ成形の技術習得、デザインコースは授業の聴講による知識・技能の習得で地域産業の技術者の育成に貢献する。	セラミック科 デザイン科
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり				
5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・			